

ミュージアムコレクションIII

アフリカ現代美術 コレクション のすべて

Museum Collection III

All of the African Contemporary Art Collection

Saka Acquaye, Anapa, Sokari Douglas Camp,
Moustapha Dimé, El Anatsui, Ablade Glover,
Abdoulaye Konaté, Issa Samb,
Pascale Marthine Tayou



2018.11.3sat » 2019.4.7sun

会場: 世田谷美術館2階展示室 開館時間: 10:00-18:00(最終入場は17:30まで)

休館日: 毎週月曜日

*ただし12月24日(月・振替休日)、1月14日(祝)、2月11日(祝)は開館、12月25日(火)、12月29日(土)~1月3日(木)、1月15日(火)、2月12日(火)は休館

観覧料: 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上・中小生100円(80円)

* ()内は20名以上の団体料金 * 障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者の方は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。

* 小・中学生は土・日・祝・休日は無料。* 3月30日(土)は当館の開館記念日につき無料。* 同時開催の企画展チケットで本展をご覧いただけます。

エル・アナツイ《あてどなき宿命の旅路》1995年 ©EL ANATSUI 撮影:上野則宏

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL:03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

展覧会のご案内 03-5777-8600(ハローダイヤル)

アフリカ 現代美術 コレクション のすべて

All of the African Contemporary Art Collection

1960年前後に相次いで独立して以来、さまざまな困難に直面しながらも、近年はめざましい経済発展を遂げているアフリカ諸国。美術に目を向けると、複雑で多様な歴史的・文化的背景をそれぞれに折り込みながら、精神的に作品を制作するアフリカ出身のアーティストが数多く登場しています。彼らの作品は1990年頃から欧米で注目され、2000年代以降はわが国でも急速に関心が高まっています。

当館では早くからアフリカに注目してきました。1989年にガーナ出身のサカ・アクエの個展を、また1995年には西および中部アフリカ出身の作家たちに着目する「インサイド・ストーリー：同時代のアフリカ美術」展を開催し、それまでアフリカ美術の紹介といえば伝統的な仮面や神像、あるいは素朴な民衆絵画が中心だったわが国の動向に、一石を投じました。本展では、これらの展覧会をきっかけに収蔵した9作家の作品を一堂に展観します。

サカ・アクエ
Saka Acquaye, 1927-2007

アナパ
Anapa, 1962-

ソカリ・ダグラス・キャンプ
Sokari Douglas Camp, 1958-

ムスタファ・ディメ
Moustapha Dimé, 1952-1998

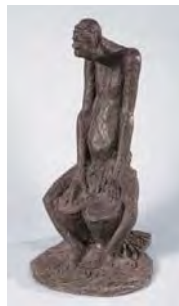
エル・アナツイ
El Anatsui, 1944-

アブラデ・グローヴァー
Ablade Glover, 1934-

アブドゥライ・コナテ
Abdoulaye Konaté, 1953-

イッサ・サンブ
Issa Samb, 1945-2017

パスカール・マルチヌ・タユ
Pascale Marthine Tayou, 1966-



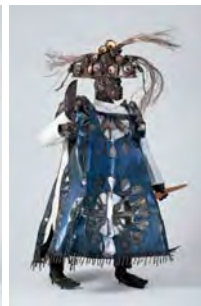
①



②



③



④

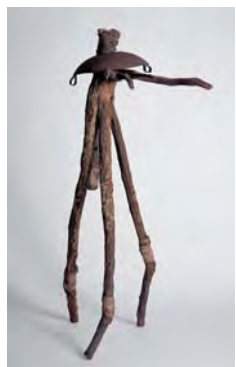


⑤



⑥

- ① サカ・アクエ《ドラムを打つ男—陶酔》1988年 撮影:上野則宏
- ② アナパ《ルバ・フィーリング》1994年 撮影:上野則宏
- ③ ソカリ・ダグラス・キャンプ《私の世界 あなたの世界》1997年 Sculpture made by Artist Sokari Douglas Camp
- ④ ムスタファ・ディメ《空想の動物たち》1994年 撮影:上野則宏
- ⑤ アブラデ・グローヴァー《タウンパノラマ》1994年 ©Ablade Glover
- ⑥ アブドゥライ・コナテ《アフリカの力》1991年 撮影:上野則宏
- ⑦ イッサ・サンブ《彼らは立っている》1994年
- ⑧ パスカール・マルチヌ・タユ《トーテム94》、《トーテム94 (女)》1994年 Courtesy the artist and GALLERIA CONTINUA, San Gimignano / Beijing / Les Moulins / Habana 撮影:上野則宏



⑦



⑧



関連企画

トーク「美術・音楽・文学にみるアフリカの今」

本展担当芸員が聞き手となるトークシリーズです。

①「複数の語りの共存をめざして —アフリカの同時代美術の30年—

日時=2018年11月4日(日) 14時~15時
出演=川口幸也(立教大学教授)

②「フォークとポップが交差するとき —アフリカン・ポップスの魅惑—

日時=2019年2月11日(月・祝) 14時~15時
出演=鈴木裕之(国士館大学教授)

③「知っていることの奥へ —絵本をとらえてみるアフリカ—

日時=2019年4月7日(日) 14時~15時
出演=村田はるせ(アフリカ文学研究者)

- * 聞き手=各回とも塚田美紀(当館学芸員)
- * 会場・定員など=各回とも当館講堂、先着140名、参加無料、手話通訳付き
- * 各回とも当日13時からエントランス・ホールで整理券を配布します。

子どもとおでかけ美術館 「アフリカのおと いろいろ どうぶつのおはなし会」

展示室で鑑賞のヒントをお話しした後、講義室にて本展のテーマや出品作品にちなんだ絵本の読み聞かせなどを行います。幼児から大人まで、みなさまと一緒に、美術館へのおでかけをお楽しみください。

日時=2019年3月9日(土) 15時~15時40分 出演=おはなし広場
定員など=10組程度、当日先着順、要観覧券観覧料 * 詳細は当館HPをご覧ください。

美術と演劇のワークショップ 「えんげきのえ」

展覧会を見てわいてくる疑問や感想を共有しながら、美術とのつきあい方、演劇の第一歩をさぐります。

日時=2019年3月23日(土) 13時~18時 講師=柏木陽(演劇家、NPO法人演劇百貨店代表)、塚田美紀(当館学芸員)
会場・定員など=当館講堂、10歳以上の方・申込先着15名 参加費=10代の方:500円、20歳以上の方:2,000円
* 2019年2月1日(金)より当館HPにて申込受付 * 3月24日(日)、これまでの「えんげきのえ」に関するトークも開催。詳細は当館HPをご覧ください。

100円ワークショップ

子どもから大人まで、どなたでもその場で参加できる工作。

日時=2018年11月17日~2019年1月26日の毎土曜日(12月29日を除く) 13時~15時 会場=地下創作室 参加費=1回100円

小コーナー展示 追悼—保田春彦(1930-2018)

同時開催企画展

- ◆ 民家の画家 向井潤吉 人物交流記 2018年9月8日(土)~11月4日(日)
- ◆ ブルーノ・ムナーリ—役に立たない機械をつくった男 2018年11月17日(土)~2019年1月27日(日)
- ◆ 田沼武能写真展 東京わが残像 1948-1964 2019年2月9日(土)~4月14日(日)

- [アクセス]
- 東急田園都市線「用賀」駅下車 北口から徒歩17分もしくは美術館行バス②「美術館」下車徒歩3分
 - 小田急線「成城学園前」駅下車 南口から渋谷駅行バス③「砧町」下車徒歩10分
 - 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バス④「美術館入口」下車徒歩5分
 - 来館者専用駐車場(無料、60台) 東名高速道路高架下 厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分。



世田谷美術館 〒157-0075
東京都世田谷区砧公園1-2
SETAGAYA ART MUSEUM TEL:03-3415-6011(代表)
https://www.setagayaartmuseum.or.jp/
展覧会のご案内 03-5777-8600(ハローダイヤル)